

## はじめに

当研究所の業務については、日ごろ格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成17年は、アスベストによる健康被害や耐震強度偽装といった問題が発覚し、企業や行政に対する信頼性が改めて問われた年でありました。

そうした中、当研究所では、試験検査の信頼性を一層向上させるため、食品・環境分野の代表的な4種類の試験について、「試験所認定の国際標準規格ISO17025」の認証を取得しました。

今後はこのシステムを他の試験にも自主的に拡大し、ますます求められる検査結果の信頼性確保や説明責任を果たすとともに、民間等他の検査機関に対する精度管理実施機関としての役割も果たしていくこととしています。

また、当研究所では、県内の大学や研究機関における研究者間の情報の交流を進め、研究活動の活発化を図るため、当研究所が所管する衛生と環境の6つの分野で、鳥取大学、鳥取環境大学、米子高専、他の公設試等の研究者と当所の研究員をメンバーとする研究会をそれぞれ立ち上げました。

これによって、研究会開催時はもとより、日頃から研究者どおしが気軽に情報交換することによって、お互いに効率的な研究や共同研究を行うことができる体制となりました。

今後は、大学をはじめとする他の研究者との連携を一層推進して、効率的な研究、実践的な研究に努め、県民の皆様のニーズを調査研究に反映させていきたいと考えております。

皆様の一層のご指導、ご助言を賜りますようお願いいたします。

本年報は、平成17年度に当研究所で実施した業務や調査研究の成果をとりまとめたものです。内容等について、皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸いに存じます。

平成18年11月

鳥取県生活環境部衛生環境研究所

所長 杉本雅美